

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 間伐・森林循環担当
 内線: 4321 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B41	水源地域の森づくり事業			一般会計	農林水産業費	林業費	造林対策費	水源地域の森づくり事業費	
事業期間	平成20年度～平成31年度	根拠法令	彩の国みどりの基金条例		宣言項目				
					分野施策	051245 みどりの保全と再生			
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>手入れの遅れやシカの被害等により荒廃し、緊急に整備が必要となっている水源地域の森林を対象として、針広混交林の造成や広葉樹の森を再生し、水源かん養、土砂流出防備などの公益的機能の高度発揮やスギ花粉の削減、景観の向上等を図る。</p> <p>(1) 森林現況調査業務 △28,000千円 実施地域が見込みを下回ったことによる減 (2) 針広混交林造成事業 △12,000千円 補助金の縮減による減額 (3) 荒廃森林再生事業 △11,570千円 実施面積が見込みを下回ったことによる減 (4) 事務費 △360千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 森林現況調査業務 6地域 33,000千円 森林整備を実施するために必要な森林現況調査・測量 イ 針広混交林造成事業 725ha 324,000千円 人工林を強度に間伐し、針葉樹と広葉樹が混じりあった針広混交林の造成 ウ 荒廃森林再生事業 205ha 318,800千円 シカの被害等を受け、再生が困難な林地においての広葉樹植栽等 エ 事務費 1式 6,020千円</p> <p>(2) 事業計画 平成28年度から平成31年度の4年間で、3,800haの水源地域の森林を整備</p> <p>(3) 事業効果 水源地域の森林を再生させることにより、水源かん養機能の向上や、土砂流出・崩壊を防止するなど、森林の公益的機能の高度発揮が図られる。 (整備実績) 平成22年度 552ha、平成23年度 525ha、平成24年度 727ha、平成25年度 683ha、平成26年度 956ha、平成27年度 1,139ha、平成28年度 1,115ha</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 森林現況調査業務：実施地域が見込みを下回ったことによる委託費の減額 イ 針広混交林造成事業：補助金の縮減による減額 ウ 荒廃森林再生事業：実施面積が見込みを下回ったことによる委託費の減額</p>					
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) (県10/10) (2) (県 定額) 事業者 定額 (3) (県10/10) , (県 定額) 事業者 定額</p>									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×4.5人=42,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△51,930	繰入金	△51,930					0	629,890
現計額	681,820		681,820					0	